

新経済学部長に兼光教授が就任!

2期4年に亘り学部長を務められた佐藤真一教授に代わり、本年1月に兼光秀郎教授が新学部長にご就任された。教授は1965年に上智大学講師になられて以来、今日まで27年に亘り、まさに大学と共に歩まれてきた。編集部が研究室にお邪魔した際、「2年の任期では大したことは出来ませんよ」と穏やかな口調で話始められたが、「限られた2年間だからこそ、情熱を持って……」という意気込みが短い面談の時間の間でもひしひしと伝わってきた。

(以下、ご就任の抱負等を熱く語っていただいたメッセージを掲載致します。)

社会の中で大学という組織が果たしている役割は、歴史の変遷の中で恐らく少しずつ変わってきていると思う。しかし、真理の探究を目指す研究活動と、蓄積した知識と技術を特に次の世代に確実に伝えていく教育という役割の二つは、昔も今も変わらないだろう。
このような社会に対する重要な責務の上に、学部長は学務行政という職責が加わる。研究・教育・行政という重要な三つの仕事をバランスよくこなして行くのは容易ではなさそうである。どうしても三つのうちどれか一つ、あるいは二つが犠牲になる公算が高い。その場合、「つけ」は研究のところに回ってくるのは止むを得ないと今から観念している。

近年、わが国では大学のあり方について改めて検討する機運が高まっている。大学の内部で自発的に「自己点検・評価」をすることへの要請はその一例であろう。自発的な自己点検の要求という表現にはどうも釈然としないが、日本得意の役所的発想(その好例は、「輸出自主規制」という名の輸入国側の数量制限である)に見えなくもない。日本の大学組織の中で「自己評価」をする基準をどこに求めたらいいか、学務行政の立場にある学部長にどのようなことが期待されるか、などを考えると気が重い。

真理の探究と知識の伝達の二つは、資本主義の市場メカニズムのように完全に分業化できない。それが大学人の誇りでもあるだろう。しかし、研究者の真摯な情熱とが常に調和が



- 履歴 兼光 秀郎 教授
1932.10 神戸生まれ
1954.3 東京大学経済学部卒業
1956.3 同 大学院修士課程修了(修士号)
1958.9-59.8 Vanderbilt University (U.S.A.) 大学院フルブライト留学
1959.9-64.8 University of Minnesota (U.S.A.) 大学院博士課程修了(Ph. D.)
1965.4 上智大学経済学部講師
1965.10 同 助教授
1968.7-69.8 海外研修、University of Minnesota
1969.9-70.8 Harvard University (U.S.A.) 客員研究員
1972.4 上智大学経済学部教授
1981.8-82.9 Stanford University (U.S.A.) フルブライト研究員
1990.9-91.9 University of Minnesota 国際交流基金研究員

ソフィア会 会員名簿
十一月に発行の予定
上智大学創立80周年記念



母校は今年創立八十周年を迎えるが、ソフィア会ではこれを記念して、会員名簿を十一月に発行する予定で準備をすすめている。頒価は一万円(送料別)。今年の卒業生を含めると会員が六万五千名となるので使い易いように二冊に分冊して化粧箱に入れることとなっている。係では四月下旬に発行予定の『ソフィアズナウソフィアだより』(春号特集号)に住所確認のための葉書を同封するの

必ず返送して欲しいといっている。
今、住所等の不明者を洗い出すため、各学年、クラス毎に「クラス名簿委員」を募集しているが、名簿委員として名乗りをあげた方には事務局から該当学科の名簿が送付され不明者のチェックをして頂くことになる。経済学部は人数が多いので複数の協力者を募っている。問い合わせと連絡先はソフィア会事務局電話03-3238-3041まで。
またこの名簿では名刺広告を募集している。一枠五万円掲載していただいた方には名簿一冊が贈呈される。名簿の購入、または名刺広告の協力は、住所確認用葉書にその項目が記されている。皆様の協力をお願いしたい。

経鷲会主催オールソフィアズホーム・カミング・パーティー
経鷲会では、オールソフィアズの楽しい交流の場を設定することを目的として、ホーム・カミング・パーティを主催いたします。皆様お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。
日時：平成5年5月30日(日)13時~15時
93オールソフィアズのついでの日
場所：上智会館三階第一会議室
会費：オールソフィアズ 千円。(家族はすべて無料)
備考：●経済学部同窓生のみならず、オールソフィアズ大歓迎。小学生以下の子供さんには、先着30名様におみやげを用意しております。子供たちも大歓迎。
●第二回オールソフィアズ・ゴルフ大会写真展示・販売します。
●第三回オールソフィアズ・ゴルフ大会申込受付します。



第3回 オールソフィアズ・ゴルフ大会
昨年引き続き皆様のご要望に答えて、第三回オールソフィアズ・ゴルフ大会を開催致します。なお、前回は6月19日に締切となり、40組153名が参加されました。お申込みはくれぐれも早目に。
期 日：平成5年8月20日(金)7:48AMスタート
場 所：高麗川カントリークラブ(埼玉県日高市)
参加資格：上智大学卒業生、教職員及びその家族
人数枠：40組160名(会費振り込みによる先着順、申込受付中)
申込先：郵便振込 宛先「上智大学経鷲会」
口座番号 「東京5-537559」
なお、5月30日(日)オールソフィアズのついでの日も上智会館三階第一会議室で1時~3時まで受付しています。
賞 費：30,000円(プレー代、賞品及びパーティ代)
品：新ベリア方式で順位決定
優勝カップ(男・女別)その他豪華賞品多数有り
主 催：上智大学経鷲会(経済学部同窓会)
後 援：上智大学体育会ゴルフ部OB会
上智大学体育会OB会
その他：●各種グループによる参加大歓迎。
(同期会、体育文化クラブOB会、企業ソフィア会等々)
●4名単位で申込みいただければ、同一グループでプレー可
●交通の便の都合上、スタート時間の希望があれば出来る限り考慮します。
●賞品のご提供等でご協賛いただける企業がございましたらご紹介下さい。
問合先：オールソフィアズ・ゴルフ大会実行委員会
委員長 池田 賢吾
03-3272-1673
(日本冶金工業)
FAX 3273-4633
田中 正美
03-3355-4693
(タカエントプライス)
FAX 3355-5194
松田 茂
03-3239-8309
(プリンテックス)
FAX 3239-8412

# 経鷲会第4回定時総会開催

経済学部同窓会「経鷲会」第4回定時総会が平成4年11月7日（土）午後2時から、10号館講堂で卒業生・関係者およそ150名出席のもと開催された。伍堂会長からの挨拶のあと、早速議題の審議にうつり、事業活動報告、決算報告、事業計画、予算の説明が行われ、それぞれその場で承認された。最後に平成4年の卒業生の中から新代議員と役員を選出が行われたが、代議員としては、田中祐爾、下川末美、宮沢正己、渡辺誠、安永和弘、一本松朝子、村上和弘の7名が、その中から役員として田中祐爾、下川末美が選出された。以上で全議案の審議が終了、第4回総会はつががなく幕を閉じた。（議案内容については第5面に掲載）

引き続き、午後2時45分からは同じ10号館講堂で、上智大学教授アルフォンス・デーケン氏の講演会が開催された。「生と死を考える」というテーマで、約1時間にわたりユーモア一杯に話され、現役学生を含む会場の聴衆から盛大な喝采を浴びられた。会場では、教授の本の即売会並びにサイン会も行われ、ご用意頂いた本はあらかじめ完売の状況であった。（講演内容並びにデーケン教授の著書は3・4面に掲載）

その後、午後4時より会場をカフェテリアに移し懇親会が行われ、各関係者よりご挨拶をい



女性参加者も年々増加

全員で校歌を斉唱



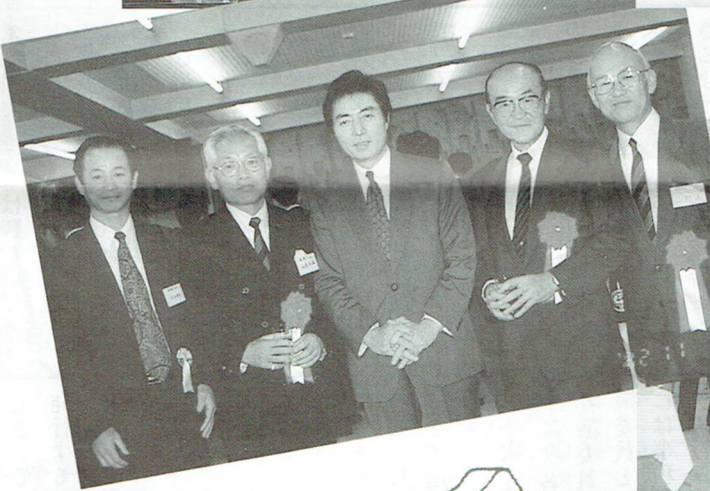
Good Smile



なつかしい顔に  
つい目元もゆるみます



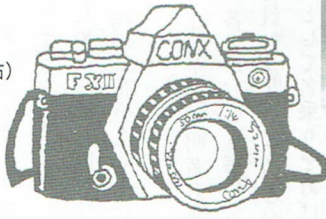
大先輩の皆様も話がはずむ



日本新党細川さんを囲んで  
伍堂会長（左）と佐藤学部長（右）



"見よ とこしえに 春がよみがえる……"



**お蔭様で 7号まで完成**

1年間2号の発行で無事7号の発行を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様、力添え頂きました先生方、事務室の方々、広告を頂きました各社皆様他の御助力の賜と思ひ感謝する次第です。どうも有難うございました。さて、今後もスタッフ一同内容の充実したエコーミアンを作っていく所存でございますので宜しくお願いたします。

尚、1号〜6号分として頂戴しました会報代同様、今次、7号〜12号分（3年分）3000円の会報代を新たに会員皆様より集めさせて頂きたいと思っております。

振込先 郵便振替 上智大学経鷲会  
口座 東京 5-537559

まだお振込みいただいていない会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



幹事の皆様、ご苦労様です。



毎年、ネーム入りの升が配られます。



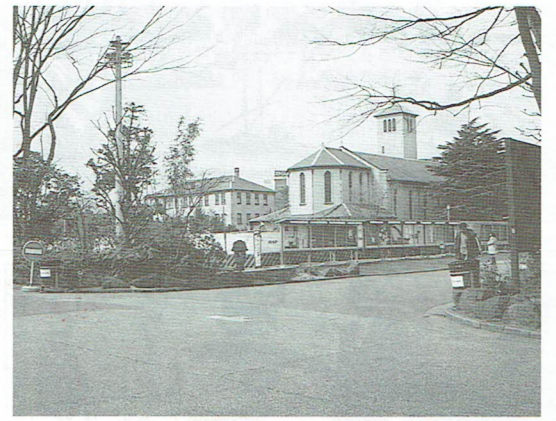
# ★シリーズ「四ッ谷界限紹介」No.6 「落成！11号館・紀尾井坂ビル」



新築された11号館(10号館側より撮影)



11号館入口



旧図書館と2号館の取り壊された跡地(SJハウス側より撮影) イグナチオ教会がこちら側からもよく見える

平成2年11月下旬から工事が始まっていた11号館、紀尾井坂ビルの両棟が昨年9月完成した。

11号館は地下3階、地上7階建てで、敷地面積は約1万3千坪。地下3階は機械室、地下2階が音楽練習室、地下1階が食堂、1階が学生部と会議室、2階・3階がゼミ室と会議室、4階から7階までが人間学、法学、経済学部の教員研究室となっている。

また、紀尾井坂ビルの方は地下4階、地上6階建てで、敷地面積はほぼ11号館と同じ1万3千坪である。こちらは地下3階、4階が駐車場、地下2階が心理学研究室、地下1階と1階がゼ

ミ室、2階から4階までが理事長、学長室をはじめ理事、副学長室と職業指導部、人事部、財務部、広報課、秘書課等の事務室、及び会議室にあてられている。また5階は予備室、6階はゲストハウスということである。

11号館並びに紀尾井坂ビルの新築に伴い、旧図書館、2号館にあった事務室、教室、教員研究室が両ビルに移転、前回のエコノミアン6号でもご紹介した通り、旧図書館と2号館は昨年9月より解体工事が行われている。将来この跡地に高層ビルが建築される予定である。



## 平成3年10月～4年9月決算報告書

自平成3年10月1日 至平成4年9月30日 (単位:円)		前期実績	今期実績	
収入	総会費	2,400,000	1,392,000	
	賛助金	200,000	1,185,000	
	会報収入	1,800,000	1,491,000	
	広告収入	800,000	849,279	
	受取利息	100,000	13,454	
	その他の収入	300,000	493,366	
	(1)収入計	5,600,000	5,424,099	
支出	総会費	懇親会費	500,000	471,750
		印刷費	80,000	67,402
		謝礼金	200,000	200,000
		郵送料	100,000	51,874
		アルバイト料	36,000	27,000
		雑費	400,000	45,201
		小計	1,316,000	863,227
	代議員会・役員会費	会場費	100,000	40,170
		郵送料	20,000	33,502
		会議費	300,000	247,619
	小計	420,000	321,291	
	会報発行費	印刷費	1,500,000	1,503,594
		郵送料	1,000,000	968,019
雑費		100,000	309,642	
小計		2,600,000	2,781,255	
事務局費	アルバイト料	100,000	50,000	
	交通費	10,000	480	
	消耗品費	150,000	76,326	
	雑費	30,000	54,871	
小計	290,000	181,677		
事業費(ホームカミングパーティー費)	100,000	113,470		
予備費	200,000	30,000		
(2)支出計	4,926,000	4,290,920		
(1)-(2)合計	674,000	1,133,179		
期首繰越	1,800,577	1,800,577		
期末繰越	2,747,577	2,933,756		
未収広告費	-	△500,000		
未払印刷費等	-	1,501,266		
期末現・預金残高	-	3,935,022		

注記) その他の収入内訳

ホームカミングディ収入	134,500
ゴルフ大会剰余金	205,969
その他	152,897
合計	493,366

現・預金残高内訳

定期預金	2,500,000
普通預金	1,141,455
振替預金	239,830
小口現金	53,737
合計	3,935,022

## 平成4年10月～5年9月予算

自平成4年10月1日 至平成5年9月30日 (単位:円)		前期予算	今期予算	
収入	総会費	2,400,000	1,000,000	
	賛助金	200,000	500,000	
	会報収入	1,800,000	4,500,000	
	広告収入	800,000	800,000	
	受取利息	100,000	60,000	
	その他の収入	300,000	300,000	
	(1)収入計	5,600,000	7,160,000	
支出	総会費	懇親会費	500,000	350,000
		印刷費	80,000	80,000
		謝礼金	200,000	200,000
		郵送料	100,000	20,000
		アルバイト料	36,000	30,000
		雑費	400,000	60,000
		小計	1,316,000	740,000
	代議員会・役員会費	会場費	100,000	100,000
		郵送料	20,000	40,000
		会議費	300,000	300,000
	小計	420,000	440,000	
	会報発行費	印刷費	1,500,000	1,500,000
		郵送料	1,000,000	1,000,000
雑費		100,000	200,000	
小計		2,600,000	2,900,000	
事務局費	アルバイト料	100,000	50,000	
	交通費	10,000	5,000	
	消耗品費	150,000	100,000	
	雑費	30,000	100,000	
小計	290,000	255,000		
事業費(ホームカミングパーティー費)	100,000	-		
予備費	200,000	200,000		
(2)支出計	4,926,000	4,535,000		
(1)-(2)合計	674,000	2,625,000		
期首繰越	1,800,577	2,933,756		
期末繰越	2,747,577	5,558,756		

### 第2会オールソフィアズゴルフ大会会計報告

1992年8月21日 於:高麗川カントリークラブ

収入	参加費	4,695,160
合計	合計	4,695,160
支出	アレー費(153人分)	3,445,860
	参加費	166,860
	party費用	609,280
	賞品代	95,313
	アルバイト代	50,000
	ゴルフ強化協力金	50,000
	連絡通信費	13,670
	雑費	48,208
	不参加者返金等	110,000
	合計	4,489,191
(収入-支出)剰余金	経営会一般会計繰り入れ	205,969

平成4年9月30日

### 事業活動報告

(H3・10・1~4・9・30)

- 講演会 11月9日(出) 於 上智大学10号館講堂  
前熊本県知事 細川 護照氏  
テーマ:「これからの日本をどうするか」
  - 懇親会 11月9日(出) 於 上智大学9号館 カフェテリア  
出席者総数:約200名
  - 第3回ホームカミングパーティー 11月9日(出) 於 上智会館 第一会議室  
出席者総数:約120名
  - 同窓会 年2回 発行:平成4年4月・10月  
発行部数:10,000部(会員、学生他)
  - ゴルフ大会 名称:第2回オールソフィアズゴルフ大会  
日時:平成4年8月21日(金)  
後援:上智大学体育会ゴルフ部OB会  
場所:高麗川カントリークラブ  
人数:40組 153名(男子:142名、女性:11名)  
チャリティー:「上智大学ソフィア会UNHCR難民募金」164千円寄贈
  - 役員会等 役員会:11回 開催  
委員会:①総務4回②事業企画4回③広報10回④会計5回  
⑤ゴルフ実行3回
- 報告 代議員の選出(平成4年)  
田中祐爾、下川末美、宮沢正巳、渡辺 誠、安永和弘、一本松朝子、村上和久

### 事業計画

(H4・10・1~5・9・30)

- 講演会 11月7日(出) 於 上智大学10号館講堂  
上智大学教授 アルフォンソ・デーケン氏  
テーマ:「生と死を考える」
  - 懇親会 11月7日(出) 於 上智大学9号館 カフェテリア  
出席者総数(目標)400名
  - 経営会主催第4回ホームカミングパーティー 11月5日(出) 於 上智会館 第一会議室  
出席者総数(目標)200名
  - 同窓会 年2回 発行:平成5年3月・9月  
発行部数:10,000部(会員、学生他)
  - 第3回オールソフィアズゴルフ大会 11月7日(出) 於 上智会館 第一会議室  
日時:平成5年8月20日 予定  
場所:高麗川カントリークラブ 予定  
人数:40組 160名
  - 役員会等 役員会:月1回 開催予定  
委員会:①総務②事業企画③広報④会計(必要な都度)  
⑤ゴルフ実行
- 議案 役員選任 平成4年卒 田中祐爾(経経)、下川末美(経営)

## 経営会第4回定時総会報告・承認事項

OB講座開設決まる  
初回講師は  
日本ケンキョーライオン社長 大河原毅氏

この講座の目的は、経営学部の卒業生が講師となって、産業界におけるさまざまな課題や、それらを克服して発展してきた過程を一産業人の立場から生々しく話をすることにより、経済の実像をより多面的に理解し、同時に卒業生と学生の連携を深めることを狙いとしている。

本年度前期(四月～七月、回数前は前・後期とも各十三回)の講座は、大河原毅氏(昭四二年経経卒、日本ケンタッキーフライドチキン(株)代表取締役社長)他同社在籍のOBが担当し、「フードサービス産業論―一企業に見る産業発展の過程―」のテーマで開講することに決定している。また、後期(十月～平成六年一月)では、川野克美氏(昭三三年経経卒、あさひ投資顧問(株)代表取締役会長)他が、銀行経営に関するリアルな話をされること予定されている。

OB講座を通して、卒業生が実践によって蓄積されたさまざまな経験を体系的に集大成したものを、後輩に積極的に披露されることは、誠に有意義なことであり、喜ばしいことである。この講座の開設に当りご尽力された経済学部はじめ大学当局の関係者の芳に感謝したい。

今年度は経済学部創立八十周年であり、この記念すべき年に開設されたこの講座を、更に充実し学生へ一段とアピールしていきたいものである。

なお、平成六年度以降の講座については、経営会が窓口となって広く卒業生に対し講師を募集することになっているので、諸先輩の積極的な応募をお待ちしております。(連絡窓口、経済学部事務室)

白井隆一郎 著

# 『コーヒーが廻り世界史が廻る』近代市民社会の黒い血液

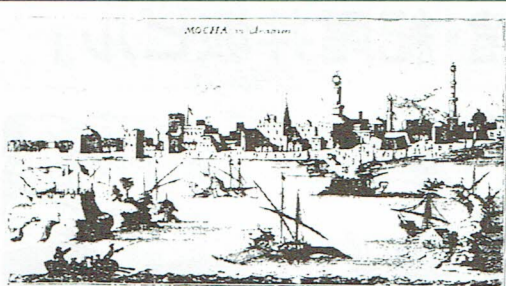
上智大学経済学部教授 浜田 寿一

最近リバイバルでも歌われている西田佐知子の「コーヒールンバ」をご記憶の方も多しと思えます。琥珀色したこの不思議な飲物の起源とヨーロッパへの導入・定着を後追いつながら、産業革命をへて、近代市民社会が形成されていく背後にコーヒープランテーションを中核とした植民地のモノカルチャー経済構造が強制されていく姿が浮き彫りにされ、いっそうほろ苦さが伝わってくる知的読物です。

毎日、人々が愛飲しているコーヒーは石油、砂糖などと並んで国際商品のひとつです。その貿易額は天然ガスについており、石炭、鉄鋼石の貿易額をも上回っています。国際商品は需要の自由な機能により価格が決定されるために、いきおい価格の変動が大きくなり、輸出国の外貨収入に大きな影響を与え、安定的な経

済発展への障害にもなっているのです。コーヒー協定はこのマイナスを緩和するためのものです。本書の中で述べられている歴史的経緯の結果、おもな輸出国はブラジル、コロンビア、インドネシア、コートジボアール、メキシコなどで、主要輸出国は米国、西ドイツ、フランスの3カ国で世界輸入量のおよそ半分を占めています。その意味で南北貿易の典型的商品です。ちなみに日本はフランスについて4番目の輸入国となっています。

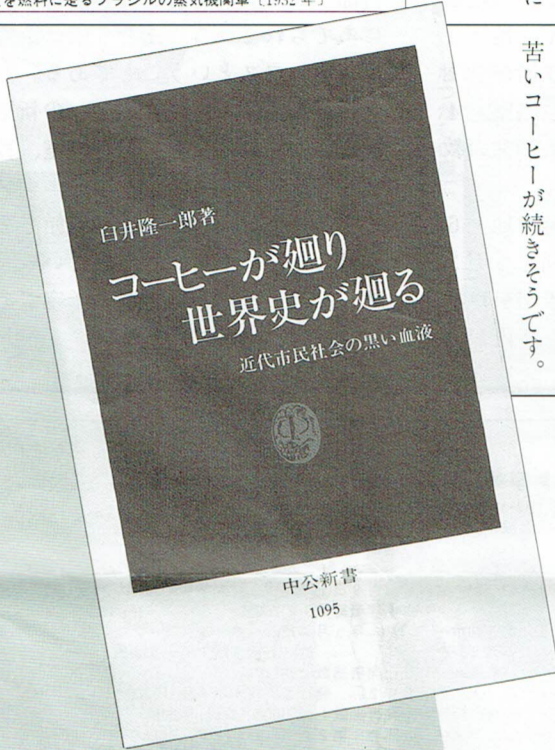
イギリスでは、コーヒーから紅茶へと嗜好が変わったのか、カフェオレに代表されるフランスのコーヒーが西インド諸島のマルティニク島に始まったことなどが興味深く述べられています。オランダによるインドネシア、ドイツによる東アフリカ植民地でのコーヒー栽培、さらには20世紀初頭のブラジル・サンパウロ州へのコーヒー生産地の動きがあたかもヨーロッパの豊かさの進展と歩調を合わせて展開していく様子も伺えます。いずれにせよ、フランス革命の自由・平等・博愛に代表されるヨーロッパ近代社会の生成・発展は植民地の多くの人々の犠牲の上に成立してきたことは事実のようです。



コーヒー交易で栄えたモカ港（シアン・ペーテルス、アムステルダム、1692年）



コーヒー豆を燃料に走るブラジルの蒸気機関車（1932年）



## ベストセラー

〈文庫・新書〉

3月28日 日経新聞より

①ソウの時間 ネズミの時間 本川達男（中央公論社）

②企業原論 佐高信（社会思想社）

③カリブの失楽園 F・フォーサイス（角川書店）

④お庭番吹雪算長（上・下） 津本陽（文芸春秋）

⑤B級グルメ大情報 文芸春秋編（文芸春秋）

⑥読書術 加藤周一（岩波書店）

⑦検屍官 P・コーンウェル（講談社）

⑧遺留品 P・コーンウェル（講談社）

⑨昭和金融恐慌史 高橋亀吉 森垣淑（講談社）

⑩戦争の犠牲者 F・フォーサイス（角川書店）

（3月15〜20日、八重洲ブックセンター）

## 11月6日土 第5回経覧会総会 開催のお知らせ

第5回経覧会総会を、来る11月6日（土）午後2時より開催を予定致しております。本年は経済学部創設80周年記念の年にあたりまして盛大に開催致したいと考えております。現在その内容について鋭意企画中で、講演会として現在各方面で活躍中の経済学部卒業生の方数名にご登壇いただいで、例えば『日本経済の今後の展望』について、各自の専門領域から論じ合うようなシンポジウム等を一例として考えております。なお、皆様方の積極的なアイデアを募集致しておりますので是非とも貴重なご意見をお寄せ下さい。また、先輩・後輩お互いの旧交を暖めあう楽しい集いに致したく思いますので、今から予定し、且つお互いに集まりの声を掛けあつて盛大な催物になるようご協力をお願いいたします。

## お知らせ

海外で活躍中の学部卒業生をご紹介下さい。編集部では「海外で活躍するエコノミアン」にご寄稿頂ける方を探しております。自薦・他薦どちらでも結構です。心当たりの方をご紹介下さい。ご連絡を頂きます次第、寄稿要領をお送り致します。

## 広告募集

エコノミアンに企業広告、個人広告、学年同窓会等各種会のお知らせ他の掲載を希望される方、ご連絡下さい。エコノミアン製作上、広告収入が大きな資金源となっております。どうぞご協力下さい。

（企業広告）  
縦95mm×横75mm……………5万円  
横幅についてはこの2倍・3倍まで対応できます。

（通知・案内・名刺広告）  
縦49mm×横28・5mm……………1万円  
連絡頂きます次第、要領をご送付致します。

（事業企画委員長 遠藤記）

日時：平成5年11月6日（土）  
一四〇〇〇〜一四一三〇  
一四一四五〜一六一〇〇  
講演会（経済学部卒業生によるシンポジウム）  
一六〇〇〇〜一八〇〇〇  
懇親会（上智大学11号館地下カフェテリア）  
場所：上智大学10号館講堂

## 編集後記

先日、しばらく振りに取材のため大学を訪れてみると2号館・図書館が解体され、中央路の方からイグナチオ教会がよく見渡せた。エコノミアン前号でも採り上げた通り、判ってはいたが、いざなくなつてみると「寂しい」という感じが強くしている。旧図書館で試験前、集会的に勉強した思い出、2号館で受けた授業の様子などが次々と頭の中に浮かび上がってくる。やはり今となつては確実に、過ぎ去つた日々が「宝石」の様な日々だったことを痛感した。そろそろ桜の季節、上智の土手の桜はあの頃と同じ様に「宝石の様な日々」に花を添える。仕舞い込んでしまった宝石を探しているあなた……ここに探している宝石があります。



上智大学経覧会（経済学部同窓会）会員の方で住所等変更になつた方ご連絡下さい。

エコノミアンは、できるだけ多くの会員の方にお届けしたいと考えております。住所等変更になる場合は、上智大学経済学部もしくはエコノミアン編集部宛ご連絡下さい。

## 寄稿のお願い

編集部ではOBの方々の寄稿を積極的に掲載していきたいと考えております。関連するお写真もお借りできればなお結構、皆様の手作りの紙面を目指して行きたいと思っておりますので、どうぞご協力下さい。

## 広告連絡先

江尻 実（45経経）  
03-3818-3016

松田 茂（50経経）  
03-3239-8309

その他連絡先  
権田（55経経）  
03-5252-6688

今、ご紹介に預かりましたデーケンです。生まれた時はドイツ人でした。その後、フランス・イギリス・アメリカ等12か国で生活して国際人になりました。日本に骨を埋めるつもりですが、心の中は日本人です。普通だったら上智大学のこの講堂で「死の哲学」を教えています。上智の学生はわたしのことを、「死の哲学のデーケン」を省略して、「死哲（シテツ）のデーケン」と言っているらしいですけれど、最近まで国鉄の方が良かったと思っているんですけど（笑）、まあそういう評判です。先程も言われましたが、デーケンという名が示すように、本当に何も「デーケン」ですが、今日は一応、「生と死を考える」というテーマで皆さんと一緒に考えたいと思います。………

だということを考えさせられる、タブーのテーマである死について考えさせられる、それを避けたいから、仕事を理由に来れなくなるのです。そうすると、お父さんはひとりぼっちで最期の日々を過ごすことになり、「社会的な死 SOCIAL DEATH」を体験するのです。これは非常に大きなテーマです。お父さんお母さんは20年

かけて努力して苦勞して育てたのに、最期に側について欲しいのは子供なのに、その子供が来ないとやはり SOCIAL DEATHと言わざるを得ません。次の「文化的な死」について、人間は本質的に文化的なものでしたが、最期になって一切文化的な潤いがなければ「文化的な死」と言えます。今の日本では、その医療の素晴らしい

お陰で、平均寿命が世界一となりました。これは素晴らしい事です。日本の男性はドイツの男性よりも長く生きるようになったのです。ですから私は日本に来ました（笑）。賢いんですね。医学会の場

か」とか「うば捨て山じゃないか」というように誤解されます。本当はそうじゃなくて、ホスピスに入るのには「死ぬため」ではなくて、出来るだけ最期まで精一杯「生きるため」なのです。そこで「生命の質 QUALITY OF LIFE」を改善することを、非常に重視します。2年前、大阪の淀川病院の院長である柏木先生が、「生と死を考えるセミナー」の中でこうおっしゃっていました。

「日本ではまだホスピスのことがよく分からない人が多いんです。私はいつもタクシーの運転手さんにホスピスとは何かとよく聞かれますが、大阪の運転手さんは『ああ勿論わかります』と答えてくれるのですが、東京の運転手さんは『さあホスピスとはハイクルラスのホスピスでしょうか』とか言います」と。まだ分からない人が多いと言っていることですね。また、5年前、厚生省の末期医療検討委員会で働いていたとき、私は政府のつくる書類の中で、ホスピスに関する章を1つ入れたかったので、日本ではまだホスピスという言葉が通じないから駄目と言われ、5年すれば殆どの日本人がホスピスのことを知ることになるとい

で、非常に恐いことになりました。ところが、ホスピスの中では、95%の痛みを緩和できるのです。モルヒネによってできるのです。でも、医者は知らないというところがあります。QUALITY OF LIFEを考える上で必要なしっかりした疼痛緩和は、ホスピスの特徴です。ホスピスの中で、QUALITY OF LIFEを重視したものと、音楽療法が上げられています。ここでは詳しく説明する時間がないので、お手元のレジュメを御覧いただきたいのですが、この音楽療法は今非常に盛んで、特にドイツ、アメリカ、オーストラリアで QUALITY OF LIFE 生命の質を改善するためのアプローチとして注目されています。ここに音楽療法の8つの効用がありますが、その中でも特に「なつかしいメロディは嬉しい思い出をよみがえらせ、灰色の闘病生活に暖かな灯をともし」てあるとか、「音楽は時間を超越しているため、永遠性への希望を与えてくれる」ということから、私はこう考えます。私たちは常に時間の中に生きています。過去は現在から見れば過ぎ去ったことですが、「思い出」という形によってそれを再体験することができ

## 上智大学文学部教授 アルフォンス・デーケン氏 講演

# 「生と死を考える」



平成4年11月7日(土)の経覧会総会におけるアルフォンス・デーケン教授の講演内容です。主要と思われる箇所を抜粋して掲載いたします。

### (抜粋)

普通「死」というと私たちは肉体的な死を想像しますが、私は「死」を「心理的な死」、「社会的な死」、「文化的な死」として「肉体的な死」の4つの側面から考えたと思います。まず「心理的な死」ですが、死ぬ間際になって生きる意欲をなくした患者は、肉体的な死の前に心理的な死を体験します。次の「社会的な死」ですが、人間は本質的に社会的動物ですが、だれも他人との接触がなくなると社会的な死を体験することになります。最近私は病院で講演をするのですが、お父さんお母さんが死に近付くと、子供は見舞いに来なくなるそうなんです。皆、仕事が忙しいうから理由を付けてはいますが、本当の理由は違います。身近の人の死に直面して自分もいつかは死ぬの

### プロフィール

上智大学文学部教授

アルフォンス・デーケン(Alfons Deeken)

1932年ドイツ生まれ。ミュンヘン大学卒業後、フォードム大学大学院にて哲学博士号を取得。

1959年来日。現在、上智大学文学部教授として、人間学・死の哲学などの講義を担当。「生と死を考える会」会長。1975年米国文学賞を受賞。1989年第3回グローバル社会福祉・医療賞受賞、1991年全米死生学財団賞および第39回菊池寛賞受賞。

著書に『第三の人生』(南窓社)『叢書』死への準備教育』(メヂカルフレンド社)『旅立ちの朝に』(共著・角川書店/新潮文庫)『老いと死をみつめて』(編著・同文書院)『生と死を考える』『日本のホスピスと終末期医療』(共編・春秋社)ほか多数。

今、東京都ではホスピスの計画があり、私も2年間定期的に都庁に集まって、13人の委員会、望ましいホスピスの研究をしています。また同時に、強く協力しているホスピスに、佐倉町のホスピスがあります。日本で初めてのカトリックのホスピスですが、すでに病院の中で12のホスピスベッドを設けています。そこで来年の春からホスピスに入る患者は、治らない癌などの患者で、医者の判断によると残った命はあと3週間以内という人です。しかしこれは時々「死に場所じゃない

か」とか「うば捨て山じゃないか」というように誤解されます。本当はそうじゃなくて、ホスピスに入るのには「死ぬため」ではなくて、出来るだけ最期まで精一杯「生きるため」なのです。そこで「生命の質 QUALITY OF LIFE」を改善することを、非常に重視します。2年前、大阪の淀川病院の院長である柏木先生が、「生と死を考えるセミナー」の中でこうおっしゃっていました。

「日本ではまだホスピスのことがよく分からない人が多いんです。私はいつもタクシーの運転手さんにホスピスとは何かとよく聞かれますが、大阪の運転手さんは『ああ勿論わかります』と答えてくれるのですが、東京の運転手さんは『さあホスピスとはハイクルラスのホスピスでしょうか』とか言います」と。まだ分からない人が多いと言っていることですね。また、5年前、厚生省の末期医療検討委員会で働いていたとき、私は政府のつくる書類の中で、ホスピスに関する章を1つ入れたかったので、日本ではまだホスピスという言葉が通じないから駄目と言われ、5年すれば殆どの日本人がホスピスのことを知ることになるとい

で、非常に恐いことになりました。ところが、ホスピスの中では、95%の痛みを緩和できるのです。モルヒネによってできるのです。でも、医者は知らないというところがあります。QUALITY OF LIFEを考える上で必要なしっかりした疼痛緩和は、ホスピスの特徴です。ホスピスの中で、QUALITY OF LIFEを重視したものと、音楽療法が上げられています。ここでは詳しく説明する時間がないので、お手元のレジュメを御覧いただきたいのですが、この音楽療法は今非常に盛んで、特にドイツ、アメリカ、オーストラリアで QUALITY OF LIFE 生命の質を改善するためのアプローチとして注目されています。ここに音楽療法の8つの効用がありますが、その中でも特に「なつかしいメロディは嬉しい思い出をよみがえらせ、灰色の闘病生活に暖かな灯をともし」てあるとか、「音楽は時間を超越しているため、永遠性への希望を与えてくれる」ということから、私はこう考えます。私たちは常に時間の中に生きています。過去は現在から見れば過ぎ去ったことですが、「思い出」という形によってそれを再体験することができ



人の管弦楽団のメンバーが、日本の大学として初めてベルリンに行き、演奏しました。早稲田や東大は、ずっと後でした。ベルリンでもフォン・カラヤンが指揮してくれました。彼は私よりじょうずだぞうです(笑)。そこで演奏したメランパーはベルリンで、フォン・カラヤンのもので演奏した曲は、一生涯特別な意味をもっているのです。自分の学生時代のことを思い出します。そのような訳で、音楽療法によって、患者さんは過去の人生の美しい日々を再体験することができると言えます。

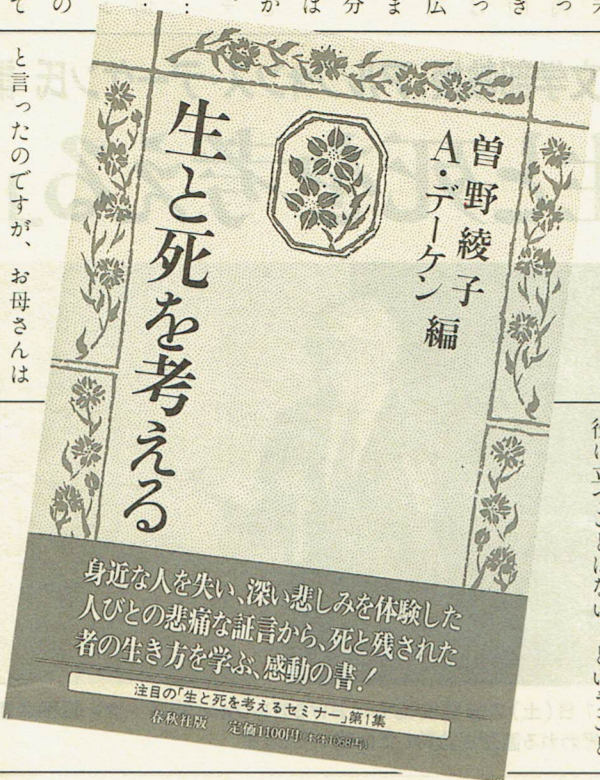
同じように、未来も、単なる未来ではなくて、今でも希望を持っています。ですから、音楽療法によって、私たちは患者さんの意識を広める深めることができると言えます。「今」だけではなくて、自分の過去の過去へ戻って、あるいは未来に対する希望を与えることができるのではないかと思います。

### (抜粋)

もうひとつの実例ですが、私の友達のお母さんのニューヨークでの死に方でした。普通だったら死ぬことは悲しいこと、涙を流すこととしよう。ところが、このお母さんは自分の死を悲劇ではなくひとつの喜劇にしました。11人の子供を育てた91歳で、その晩で亡くなるだろうと医者が報告したとき、11人の子供と沢山の孫がそこへ集まりました。お母さんはもう昏睡状態のように見えませんでした。カトリック神父の長男は皆に「残念ながらお母さんと話すことはもうできないけれども祈りましょう」と言

ってミサを捧げました。ミサが終わるとお母さんが突然「祈ってくれてありがとう。ワイスキーを飲みたい」と言い出しました。皆びっくりしましたが、あわてて探して飲ませました。するとお母さんは「少しぬるいから水を入れて頂戴」と言ってまた皆をびっくりさせました。水を入れると「おいしい。おいしい」と言ってお母さんは全部飲んでしまったそうです。次は「たばこを吸いたい」と言い出し、長男が「医者は今たばこを吸ってはいけないと言っている」

たのですが、だから死ぬ前に飲みたかった、という訳ではありません。むしろ91歳にもなると、何回も何回も友達・知り合い・親戚とお葬式に出たことがあります。いつも皆が涙するのを思い出して、自分の死によって子供や孫に悲しみや苦しみを与えることなく、それらを取り払って明るい雰囲気を作ったかった、笑いを残したかったのです。何と美しい思いやりなのでしょう。私の解釈ですが、このお母さんが一番悩んだのは、11人の子供を育てて他人のために役立ってきたのに、もうこれから役に立つことはない、ということ



と言ったのですが、お母さんは「死ぬのは医者ではなくて私なのです」とたばこを吸いました。たばこを吸い終わって皆に感謝をして「天国でまた会いましょう。バイバイ」と言って横になって息を引き取ったのです。その時は悲しんだ子供はいませんでした。勿論お母さんの死は悲しいものですが、死の際のユーモラスな明るさは、皆に笑いを与えました。お母さんはいい死に際だったのです。このお母さんは生涯あまりお酒をのまなかったし、たばこも吸わなかつ

たのですが、だから死ぬ前に飲みたかった、という訳ではありません。むしろ91歳にもなると、何回も何回も友達・知り合い・親戚とお葬式に出たことがあります。いつも皆が涙するのを思い出して、自分の死によって子供や孫に悲しみや苦しみを与えることなく、それらを取り払って明るい雰囲気を作ったかった、笑いを残したかったのです。何と美しい思いやりなのでしょう。私の解釈ですが、このお母さんが一番悩んだのは、11人の子供を育てて他人のために役に立つことはない、ということ

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

死への準備教育では、このようなことを教えないと思えます。最終期になってコントロールできないこととできることをよく区別して、できる限り自分なりの最期の日々を過ごすとか、自分なりの死を全うすることが大事だと思います。

中国料理の華麗なる色と味覚。 神仙餐廳 SHINSEN SANCHO

- 営業時間/AM11:30 - PM11:00 ●定休日/日曜日・祭日
- 港区西麻布1-8-21エムロード西麻布ガーデン1F
- 客席数/125席(個室3室有り)
- 金額・料理等お気軽に御相談下さい。
- ご予約/お問い合わせは ☎03-3404-4230



## 老いと死をみつめて

好評発売中

執筆者 島田妙子 河野友信 アラン・デューク 平山 正実 山本 俊一

「老いと病気が死が、いま人類の切実な問題になってきた。こういう大問題について、むづかしい哲学や専門の知識をふりかざして説く本は沢山ある。けれども、ふつう人々はもっと身近な具体的な疑問で困っている。この本は、そういう人々への、やさしい暖かい、心のこもったプレゼンテーションである。――加賀乙彦(推せんのことばより)」

配偶者を喪った悲しみや死への不安をどう克服するか。家族の受けるストレスや病名告知・安楽死はどのように考えるか。病院や老人ホームに関する疑問、介護者が直面する切実な問題に豊かな経験から親切に答えたアドバイス集

四六判 定価一〇三〇円

## 第二の人生

あなたも老人になる

アルフォンステークン 飯塚眞之編

アルフォンステークン メディカルフレンド社編集部編

### 死への準備教育 Death Education (全3巻)

- 第1巻 死を教える 定価二〇六〇円
- 第2巻 死を看取る 定価一五四五円
- 第3巻 死を考える 定価一五四五円

メディカルフレンド社刊